

牛丘疹性口炎に罹患した黒毛和種子牛の1例

高橋真紀^{1)†} 清宮幸男¹⁾ 関 慶久¹⁾ 本川正人¹⁾ 熊谷芳浩¹⁾

芝原友幸²⁾ 木村久美子²⁾ 播谷 亮²⁾

1) 岩手県中央家畜保健衛生所 (〒020-0173 岩手郡滝沢村滝沢字砂込390-5)

2) (独)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所 (〒305-0856 つくば市観音台3-1-5)

(2009年11月10日受付・2010年1月7日受理)

要 約

舌の腹側面および歯ぎんに丘疹性病変が多発した4カ月齢の黒毛和種子牛を病理学的およびウイルス学的に検索した。病巣は有棘層の外層および顆粒層を構成する細胞の腫大、空胞化および好酸性細胞質封入体を伴う上皮の増殖により特徴づけられた。免疫組織化学的にパラボックスウイルス抗原、また電子顕微鏡検査により同ウイルス様粒子が病巣内に観察された。ウイルス遺伝子がPCRにより病巣から検出され、PCR産物の塩基配列あるいは制限酵素断片長多型解析により牛丘疹性口炎ウイルスに分類された。以上の成績から本病を牛丘疹性口炎と診断した。

——キーワード：牛丘疹性口炎，子牛，制限酵素断片長多型解析。

----- 日獣会誌 63, 359～363 (2010)

† 連絡責任者：高橋真紀 (岩手県中央家畜保健衛生所)

〒020-0173 岩手郡滝沢村滝沢字砂込390-5

☎019-688-4111 FAX 019-688-4012

E-mail : maki-t@pref.iwate.jp